

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

◆ 初競りで今年の豊漁を祈願



【初競りのようす（湧別漁協）】

令和3年の初競りが1月8日に湧別漁協・常呂漁協・佐呂間漁協のそれぞれの漁協において関係者が出席のもと行われました。

湧別漁協では、午後1時から関係者60名が出席し、今年一年の豊漁と安全操業を願ったあと、最初の競りが行われました。競りでは、むきガキ、カレイが出荷され、仲買人らの威勢の良いかげ声が場内に響き渡りました。

◆ 外海ホタテ貝漁が終漁

令和2年のオホーツク海での外海ホタテ貝漁は、湧別漁協が36,820トン、常呂漁協が47,262トン、佐呂間漁協が10,830トンの水揚げし3漁協で9万5千トン（前年比120%）の漁獲量となり、常呂漁協では平成26年度を上回る過去最高の水揚げ量となりました。

しかし、漁獲高では、感染拡大が収まらないコロナ禍などの影響により、輸出環境が悪化し、生鮮及び乾貝柱の市況が大幅に下がったため、事業計画を下回ることになりそうです。



【外海ホタテ貝漁の荷揚作業（常呂漁港）】

漁協名	水揚量	前年比	漁獲高	前年比
湧別漁協	36,820 トン	130%	2,989 百万円	82%
常呂漁協	47,262 トン	115%	6,565 百万円	69%
佐呂間漁協	10,830 トン	110%	1,296 百万円	73%
計	94,912 トン	120%	10,850 百万円	72%

◆ サロマ湖周遊スタンプラリー



サロマ湖に面する北見市常呂、佐呂間町、湧別町で組織し、サロマ湖を中心とした観光及び物産の振興を目指し活動しているサロマ湖観光物産振興協議会では、J A Fと連携し「サロマ湖周遊スタンプラリー」を実施しています。

サロマ湖周辺で飲食・体験・お買い物・観光、公共施設を巡って二次元コードの読み取りや、GPS位置情報を利用してスタンプを獲得すると各町の素敵な商品が当たるチャンスが！！



お問合せ／01587-2-1200（佐呂間町経済課）

◆ 地元の食材に感謝しました！

佐呂間高校3年生を対象にした食文化体験学習が開催され、地元の特産品であるサロマ黒牛のすきやきのほか、「帆立」の刺身や「牡蠣」の酒蒸しを味わいました。

その後、生産者を代表して佐呂間漁協の阿部組合長が、サロマ湖でホタテやカキの養殖が確立するまでの歴史や苦勞について講演を行いました。



【高校生に講演をする阿部組合長】

高校生からは「大好きな牡蠣がたくさん食べられて嬉しかったです」、「佐呂間町の自然、食文化の素晴らしさを再確認することができた。生まれ育ったふるさとを誇りに思い生きていこうと思っています。」、「先人の方々の努力のおかげでおいしい食材を食べることができることに感謝します。」などの感想が寄せられました。

操業の安全と豊漁を祈ります！

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2021.1.20

編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当

〒093-0502 佐呂間町永代町3番地の1

佐呂間町経済課水産係

T e l 01587-2-1200 ・ F a x 01587-2-1131

M a i l kankou@town.saroma.hokkaido.jp



ももちゃん